

サトイモ科

ナギヒロハテンナンショウ

Arisaema nagiense T.Kobay., K.Sasamura. et J.Murata

兵庫県ランク… A

環境省ランク… CR

■ 県内分布

西播磨

■ 国内分布

本州（兵庫県、岡山県、鳥取県）

■ 選定理由

人為性	特殊性	学術性
生育環境破壊	特殊生育環境	特殊な分布
観賞用等採取	特異な生態	分布の限界
		希少



■ 特記事項

西播磨で発見され、新種記載された種である。分布の東限。

■ 保護上の留意点

生育地の保全が重要である。



写真提供：小林禧樹

■ 種の概要

山地からブナ帯の林下に生える。ヒロハテンナンショウ群に属する。葉は1個（まれに2個）、小葉は5枚（ときに7枚）で葉軸は発達しない。花期は5月。仏炎苞は葉に先駆けて展開するという特徴をもつ。花柄は葉柄の長さの半分ほどであるが、ヒロハテンナンショウに比べ大きい。また、仏炎苞の舷部の幅が狭く、舷部の内側が紫色であり、また小葉の幅が狭い点で異なる。